

箕輪町第5次振興計画の全体像

第1部 策定にあたって

本編⇒P.000

1. 計画策定の意義

- 人口減少時代を迎え、私たちは大きな転換点に立っています。
- 町を取り巻く状況の、現状と先行きを十分に捉え、戦略的に取り組むことが必要です。
- また、行政組織はもとより、町民等、様々な主体が目的を共有し、一体となって取り組むことが求められます。
- 本計画は、地域で暮らす皆が、まちづくりの目的・課題を共有し、一体となって取り組むための、まちづくりの『設計図』です。

2. 計画の構成と期間

基本構想：2016年度から10年間
基本計画：2016年度から10年間
区将来像：2016年度から10年間

3. 取り巻く社会動向と課題

- 人口減少時代の到来
- ライフスタイル・価値観の多様化
- 経済・財政状況の変化
- 地方分権の推進

4. 築き上げた箕輪町の魅力

- 恵まれた地理・地形・気候風土と自然環境
- 悠久の歴史文化
- 県内トップクラスの人口規模
- 生活を支える産業構造
- 住民自治と官民協働
- 近年の箕輪町の取組み

5. 策定方法

- 幅広い分野・年齢層の町民等からなる「みのわ未来委員会」を設置して計画原案を策定
- 協働のまちづくり条例に基づき、町議会での議決により決定

第2部 基本構想

本編⇒P.000

計画期間の2025年までに基本構想の実現を目指します

○箕輪町の将来像

みんなで創る、未来につながる、暮らしやすい箕輪町

－人口減少時代への挑戦“箕輪チャレンジ”－

<第5次振興計画の基本理念>

- これまでの取組みを振り返りながら、町民が一丸となり、「みんなで創る」まちづくりを進めていきます。
- 先人が長年かけて作り上げた暮らしやすさが、「未来につながる」まちづくりを進めていきます。
- 人口減少時代となっても、誰もが住みたい町、住み続けたい町であり続けるため、「暮らしやすい箕輪町」を実現するまちづくりを進めていきます。

<人口減少時代への挑戦“箕輪チャレンジ”>

- 人口減少を想定した初めての総合計画
- 町民みんなで心を一につに難しい課題にチャレンジ!

チャレンジ目標①

人口減少時代に即した暮らしへの転換

- 新たな時代においても現在の暮らしやすさを維持
- ◇住民満足度：70%

チャレンジ目標②

将来の暮らしやすさを守る人口規模の維持

- ◇人口規模：24,800人以上
- ◇合計特殊出生率：1.80
- ◇転入者数：2015年比48人増/年

目標達成を強力に進める重点プロジェクト

人口減少時代に即した暮らしへの転換

- 「出航!みのわ丸2025」町民参画促進チャレンジ
- 「集落再熱!」集落パワーアップチャレンジ
- 「ありがとう!健康」健康寿命延伸チャレンジ
- 「行政発新!」新時代の行政運営チャレンジ
- 「みのわマネーサイクル」地域内資金循環チャレンジ
- 「8・5・1のスクラム」教育力向上チャレンジ
- 「世界に誇るセーフコミュニティのまち」安全・安心チャレンジ
- 「復活!向こう三軒両隣」地域の絆再生チャレンジ

将来の暮らしやすさを守る人口規模の維持

- 「幸せのまち“みのわ”」ハッピーサポートチャレンジ
- 「目指せ!子育てユートピア」子育て安心チャレンジ
- 「ほどほどの田舎暮らし」移住・定住促進チャレンジ
- 「地域の足を守れ!」公共交通活性化チャレンジ
- 「資源と人の循環づくり」緑のエネルギー活用チャレンジ
- 「我らは農業応援団!」箕輪の農業応援チャレンジ
- 「Made in Minowa 2025」商工業活性化チャレンジ
- 「町民みんながセールスマン」箕輪町知名度向上チャレンジ
- 「好きですみのわ!」ふるさと愛着応援チャレンジ

基本構想の共有・町と区が連携してまちづくりに取り組む

基本構想を実現させる基本的な施策

第5部 区の将来像

本編⇒P.000

町全体で基本構想等を共有し、まちづくりを推進していくために、15区全てで将来像を作成し、取り組みます。

第3部 基本計画

本編⇒P.000

各分野、目的別に整理しています(■:取組みの方向性 ○:節(施策をまとめたもの))

第1章 人の「Wa!」が輝くまち

本編⇒P.000

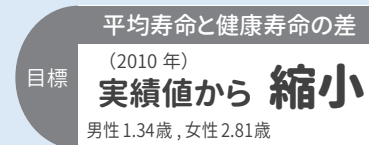


- 地域内でのコミュニティの維持
- 新たなコミュニティの構築
- 安全・安心で、快適な暮らしの維持
- 町民と共に進める行政経営

- ①人のつながりと協働のまちづくり
- ②安全・安心の推進
- ③快適な生活環境の整備
- ④理解され信頼される行政経営

第2章 支え合い、健やかに心豊かに暮らせるまち

本編⇒P.000



- 誰もが一歩踏み出せる健康づくり
- 安心できる医療体制の構築
- 支え合い、共に暮らせる福祉のまちづくり

- ①地域ぐるみの健康づくり
- ②安心して医療が受けられる医療体制づくり
- ③共に生き、支え合う福祉のまちづくり
- ④障がい者が共に暮らせるまちづくり
- ⑤高齢者が住み慣れた地域で自分らしく暮らせる体制づくり

第3章 「家族になろう」といえるまち

本編⇒P.000



- 出会い、結婚する人を増やす取組み
- 出産、子育てに希望を持てるようにする取組み

- ①出会い・結婚の支援
- ②妊娠・出産の支援
- ③育児・子育て支援
- ④地域で支える子育て環境づくり

第4章 産業が輝き、働く場所に恵まれたまち

本編⇒P.000



- 町民の働く場所の確保
- 人材確保・人材育成による担い手や後継者不足の解消
- これまでに築いた産業の維持・確保
- 地域資源の発掘と活用
- 産業間の連携や新分野開拓による新たな取組みの展開

- ①雇用の創出と人材の育成
- ②産業の活性化
- ③輝く産業の育成

第5章 住みやすい都市基盤をみんなでつくるまち

本編⇒P.000



- 景観や自然環境の保全・育成と、調和のとれた開発
- 安全性・利便性に配慮した、住民満足度の高い都市基盤整備
- 協働・住民自治による持続可能な都市基盤の維持・管理

- ①景観や自然環境の保全・育成と、調和のとれた開発
- ②安全性・利便性に配慮した、住民満足度の高い都市基盤整備
- ③協働・住民自治による持続可能な都市基盤の維持・管理

第6章 学び合い、共に育てるふるさとのまち

本編⇒P.000



- 地域への愛着と誇りを育てる教育の推進
- 自己肯定感をもち、創造的に生きていく教育の推進
- 社会とのつながりをもち、学び続ける教育の推進

- ①地域への愛着と誇りを育てる教育の推進
- ②自己肯定感をもち、創造的に生きていく教育の推進
- ③社会とのつながりをもち、学び続ける教育の推進

Check

第4部 計画の実現に向けて

本編⇒P.000

◆ 内部評価と外部評価

…… 行政の内部評価に加え、みのわ未来委員会(任期3年)による外部評価を実施

◇ PDCA サイクル

…… 計画(P)→行動(Do)→状況把握(Check)→調整・改善(Action)を繰り返すPDCAサイクルを、各施策年度毎に行い進捗を管理